

コンテンツビジネス振興政策

ソフトパワー時代の国家戦略

2004年4月

コンテンツ専門調査会

第1部 基本的方向 (コンテンツビジネス振興を国家戦略の柱に)

日本のコンテンツビジネスの現状

コンテンツ:世界的に人気、総じて高い評価

ビジネス:コンテンツの良さを十分活かしてきていない

欧州各国の手厚い振興策

韓国・中国の追い上げ

(国策としてテコ入れ)

米国のひとり勝ち

コンテンツは国の重要分野

産業として重要

市場規模大(我が国では11兆円)
他産業への波及効果

ソフトパワー

海外での
国家イメージ向上
にとって重要

「コンテンツビジネス振興」を国家戦略の柱に

我が国のコンテンツビジネスの課題は

一層の近代化・合理化

社会をリードするビジネスへ

多面的にビジネス展開

3カ年集中改革の実施で課題を達成
コンテンツビジネスの規模を上昇傾向へ

第2部 集中改革の具体策（3つの目標と10の改革）

目標1

資金、人材、技術等
ビジネスの基盤を整備し、
業界の近代化・合理化を
さらに進める

- 改革1** 業界の近代化・合理化の支援 ~ チャンスが光る業界へ~
- 改革2** 資金調達手段の多様化 ~ 豊富な資金でビジネスチャンス~
- 改革3** コンテンツ制作等へのインセンティブの付与
~ ビジネス展開を側面サポート~
- 改革4** 人材育成の強化 ~ 「ひと」がビジネスを変える~
- 改革5** 新技術の研究開発等の支援、普及
~ テクノロジーがビジネスを変える~

- 改革6** 人材の発掘と顕彰 ~ もっと探そうコンテンツ人材~
- 改革7** 教育・啓発の充実 ~ もっと知ろうコンテンツ~

目標2

活躍する者に光をあて、
社会をリードする
ビジネスを目指す

目標3

海外、新分野の
ビジネス等を
大きく展開する

- 改革8** 海外展開の拡大と海賊版対策の強化
~ アジアへ、そして世界へ~
- 改革9** ブロードバンドなどによる事業展開の推進
~ もっと便利におもしろく~
- 改革10** 地域等の魅力あるコンテンツの保存・発信強化
~ ニッポン全国コンテンツで豊かに~

第3部 今後のコンテンツビジネス振興に向けて

5つの理念のもと、振興政策の一層の充実を図る

All Japan

すべての関係者の連携・協力

Brand Japan

日本ブランドの向上、海外市場戦略

Cool Japan

“カッコイイ”日本へ

Digital Japan

デジタル化・ブロードバンド化に対応

E-Tech Japan

先端技術の開発・活用を推進

- 1 「集中改革」の
知的財産推進計画への反映
- 2 調査研究・広報の推進
- 3 関係者一体となった
取組の推進
- 4 今後の検討の方向性
～「21世紀型コンテンツ」など
幅広い分野の検討～